

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6094 URL <https://www.fout.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 Global CEO (氏名) 本田 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永井 秀輔 TEL 03(6721)1740
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	37,536	61.7	△56	-	637	△63.1	1,368	△44.0	△2,751	-
2023年9月期第3四半期	23,209	7.7	1,204	△1.0	1,729	△22.8	2,443	32.4	8,208	575.8

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 △2,306百万円 (-%) 2023年9月期第3四半期 8,474百万円 (321.3%)

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+持分法による投資利益+株式報酬費用+M&Aに関する株式取得・売却関連費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△154.65	-
2023年9月期第3四半期	459.17	453.33

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期第3四半期 441百万円
 2023年9月期第3四半期 538百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	42,848	17,829	31.3
2023年9月期	44,886	20,313	36.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 13,422百万円 2023年9月期 16,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	66.6	0	△100.0	600	△74.3	1,700	△50.8	△3,100	-	△174.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年8月9日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	18,022,924株	2023年9月期	18,022,924株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	413,884株	2023年9月期	145,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	17,790,624株	2023年9月期3Q	17,877,740株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(企業結合等関係)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、ミッションである「人に人らしい仕事を。」の実現を目指し、日本、北米、東アジア及び東南アジアを中心に、グローバルに事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ロシア・ウクライナ情勢、世界的な物価上昇、円相場の乱高下による急激な円安の進行など、非常に先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社の経営成績は、以下のような内容となりました。

まず、広告事業（日本）においては、プレミアム媒体を対象とした広告プラットフォーム「Scarlet」及び高度なブランドセーフティ機能を搭載した動画コンテックスチュアルターゲティングを可能とする次世代型YouTube広告枠買付システム「GP」が順調に推移いたしました。

次に、広告事業（海外）においては、米国の景気後退懸念による影響を受けて米国法人Playwire, LLCが前年同四半期比でEBITDA、営業利益が減益となったほか、東アジア・東南アジアもゲーム市場の変化による影響を受けて前年同四半期比で減益となりました。

また、持分法適用会社では、タクシー内のデジタルサイネージを提供する株式会社IRISが、順調に利益貢献いたしました。

最後に、UUUM株式会社の連結開始に伴い、インフルエンサーマーケティング事業が収益貢献しております。

一方で、第2四半期連結会計期間には、当社が保有するUUUM株式会社の株式の市場価格が取得価額に比べて著しく下落したことに伴い、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（日本公認会計士協会、最終改正2022年10月28日、会計制度委員会報告第7号）第32項の規定に基づき、のれん償却額を特別損失として計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37,536百万円（前年同四半期比61.7%増）、営業損失56百万円（前年同四半期は営業利益1,204百万円）、経常利益637百万円（前年同四半期比63.1%減）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法による投資利益＋株式報酬費用＋M&Aに関する株式取得・売却関連費用）1,368百万円（前年同四半期比44.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失2,751百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8,208百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末において、UUUM株式会社を連結子会社としたため、報告セグメント「インフルエンサーマーケティング事業」を新設しております。また、第1四半期連結会計期間より、従来「広告・マーケティング事業」としていた報告セグメントの名称を「広告事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

(広告事業)

広告事業（日本）では、プレミアム媒体支援事業が順調に成長し、株式会社フリークアウトの主力プロダクトの1つである「Scarlet」が順調に推移したほか、「GP」も順調に推移しております。

また、広告事業（海外）では、米国の景気後退懸念と東アジアにおけるゲーム市場の変化による影響を受けて、米国法人Playwire, LLC、アジア（東アジア・東南アジア）が前年同四半期比で減益となりました。

この結果、広告事業の外部顧客への売上高は21,822百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益は738百万円（前年同四半期比46.9%減）、EBITDAは1,412百万円（前年同四半期比39.7%減）となりました。

(投資事業)

投資事業では、Global展開のポテンシャルを有する製品/ソリューションを開発するITベンチャー企業を主たる投資対象として、投資リターンによる企業価値の向上を図るための事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、営業投資有価証券の減損及び有価証券の一部売却等を実施いたしました。

この結果、投資事業の外部顧客への売上高は45百万円（前年同四半期比92.0%減）、セグメント損失は75百万円（前年同四半期はセグメント利益539百万円）、EBITDAは△85百万円（前年同四半期は507百万円）となりました。

(インフルエンサーマーケティング事業)

インフルエンサーマーケティング事業では、クリエイターの様々な活動のサポート、クリエイターを活用したプロモーション、および番組制作・チャンネル運営等を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、人的資源の最適化などによる構造改革が順調に進捗しております。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業の外部顧客への売上高は15,586百万円（新設セグメントのため前年比較はありません。以下同様）、セグメント損失は119百万円、EBITDAは566百万円となりました。

(その他事業)

その他事業では、主に国内外のグループにおける経営管理機能等の提供をしております。

当第3四半期連結累計期間においては、投資先に対する管理体制の強化等を実施いたしました。

この結果、その他事業の外部顧客への売上高は82百万円（前年同四半期比38.3%増）、セグメント損失は75百万円（前年同四半期はセグメント利益292百万円）、EBITDAは△0百万円（前年同四半期は612百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は42,848百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,037百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が853百万円増加した一方で、のれんが3,423百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は25,019百万円となり、前連結会計年度末と比べ446百万円増加しました。これは主に、長期借入金が3,829百万円増加した一方で、未払法人税等が3,088百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は17,829百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,484百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が2,750百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日公表しました通期連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,394,902	20,248,058
受取手形及び売掛金	8,688,413	9,054,091
その他	3,428,101	3,283,255
貸倒引当金	△335,134	△271,456
流動資産合計	31,176,282	32,313,949
固定資産		
有形固定資産	463,402	477,733
無形固定資産		
のれん	4,796,687	1,373,183
顧客関連資産	3,441,000	3,206,386
その他	649,127	696,834
無形固定資産合計	8,886,815	5,276,404
投資その他の資産		
投資有価証券	3,325,961	3,753,949
その他	1,287,288	1,313,698
貸倒引当金	△253,363	△286,864
投資その他の資産合計	4,359,886	4,780,783
固定資産合計	13,710,104	10,534,921
資産合計	44,886,387	42,848,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,612,973	6,656,953
短期借入金	6,599,943	6,266,316
1年内返済予定の長期借入金	1,122,417	1,636,946
1年内償還予定の社債	360,000	360,000
未払法人税等	3,207,026	118,046
契約負債	205,554	161,711
賞与引当金	200,958	242,774
役員賞与引当金	22,753	9,143
関係会社整理損失引当金	77,662	65,707
その他	1,763,696	1,457,692
流動負債合計	20,172,987	16,975,291
固定負債		
社債	1,000,000	720,000
長期借入金	2,427,587	6,257,407
繰延税金負債	732,557	832,511
その他	240,171	234,628
固定負債合計	4,400,317	8,044,547
負債合計	24,573,304	25,019,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,552,049	3,552,049
資本剰余金	3,753,239	3,752,268
利益剰余金	9,011,112	6,260,409
自己株式	△323,633	△539,642
株主資本合計	15,992,767	13,025,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,453	140,775
為替換算調整勘定	265,435	256,906
その他の包括利益累計額合計	367,888	397,682
新株予約権	419,441	545,914
非支配株主持分	3,532,985	3,860,350
純資産合計	20,313,082	17,829,031
負債純資産合計	44,886,387	42,848,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	23,209,864	37,536,100
売上原価	16,359,094	26,830,748
売上総利益	6,850,770	10,705,351
販売費及び一般管理費	5,646,382	10,761,421
営業利益又は営業損失(△)	1,204,387	△56,069
営業外収益		
受取利息	5,577	15,200
持分法による投資利益	538,656	441,729
為替差益	14,312	271,969
その他	18,868	122,245
営業外収益合計	577,415	851,144
営業外費用		
支払利息	42,130	59,816
資金調達費用	2,698	53,442
その他	7,784	44,588
営業外費用合計	52,613	157,847
経常利益	1,729,189	637,227
特別利益		
投資有価証券売却益	10,817,079	169,443
関係会社株式売却益	-	510,970
その他	-	106,011
特別利益合計	10,817,079	786,425
特別損失		
のれん償却額	-	※ 3,212,733
投資有価証券評価損	551,074	33,875
その他	56,360	50,851
特別損失合計	607,434	3,297,460
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	11,938,834	△1,873,808
法人税等	3,509,654	498,111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,429,179	△2,371,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	220,284	379,339
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,208,895	△2,751,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,429,179	△2,371,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,606	33,221
持分法適用会社に対する持分相当額	12,213	11,488
為替換算調整勘定	36,910	21,186
その他の包括利益合計	45,517	65,897
四半期包括利益	8,474,697	△2,306,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,250,628	△2,721,464
非支配株主に係る四半期包括利益	224,069	415,442

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ のれん償却額

第2四半期連結会計期間に、当社が保有するUUUM株式会社の株式の市場価格が取得価額に比べて著しく下落したことに伴い、個別決算において当該株式の減損処理を計上したため、連結決算において「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会、最終改正2022年10月28日、会計制度委員会報告第7号)第32項の規定に基づき、のれん償却額を計上したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	339,811千円	660,545千円
のれんの償却額	79,939	225,987
のれんの償却額(特別損失)	—	3,212,733

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,586,462	563,718	59,684	23,209,864	-	23,209,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,074	-	1,445,015	1,467,090	△1,467,090	-
計	22,608,536	563,718	1,504,700	24,676,954	△1,467,090	23,209,864
セグメント利益	1,390,469	539,919	292,918	2,223,306	△1,018,919	1,204,387

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	広告事業	投資事業	インフルエンサーマーケティング事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,822,122	45,344	15,586,081	82,551	37,536,100	-	37,536,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,352	-	38,126	936,956	1,000,435	△1,000,435	-
計	21,847,474	45,344	15,624,207	1,019,508	38,536,535	△1,000,435	37,536,100
セグメント利益又は損 失(△)	738,380	△75,129	△119,932	△75,678	467,640	△523,709	△56,069

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において、UUUM株式会社の株式を取得し、連結範囲に含めた事に伴い、暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に会計処理が確定しております。これにより、「インフルエンサーマーケティング事業」セグメントにおけるのれんが減少しております。なお、詳細については、「注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。また、連結財務諸表「注記事項(四半期連結損益計算書に関する注記)※ のれん償却額」に記載の通り、第2四半期連結会計期間において、「インフルエンサーマーケティング事業」セグメントにおけるのれん償却額を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において、UUUM株式会社を連結子会社としたため、報告セグメント「インフルエンサーマーケティング事業」を新設しております。また、第1四半期連結会計期間より、従来「広告・マーケティング事業」としていた報告セグメントの名称を「広告事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2023年9月15日に行われたUUUM株式会社との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額5,862,588千円は、会計処理の確定による顧客関連資産の増加等に伴い1,079,306千円減少しております。

これに伴い、前連結会計年度末の資産合計は1,524,292千円、負債合計は543,460千円、純資産合計は980,832千円増加しております。

なお、のれんの償却期間は13年、顧客関連資産の償却期間は11年としております。